



3月1日に天皇誕生日祝賀レセプションを開催しました。

コロナによる中断を経て、三年ぶりの開催でした。

幸い天気にも恵まれ、200人を越える方々に出席頂き、天皇陛下の63歳の誕生日をお祝い致しました。

今回の「Helsinki 海街 Note」では、そのレセプションで私が行ったご挨拶のうち、最後の部分を改めてご紹介させていただきます。

英国のSF作家H・G・ウェルズに「宇宙戦争 The War of the Worlds」という小説があります（1898年）。2005年にはトム・クルーズ主演で再映画化されました。これが似た形で現実とならないように強く願います。現実の世界にはトム・クルーズはいませんから：

『最後に、「信頼」という言葉に触れさせて下さい。

東京でフィンランドの首相は日本との関係を「信頼のパートナーシップ」と呼びました。

それ以来、私はこの言葉に常に注意をひかれてきました。

確かに今日の世界で、法の支配、民主主義、自由、人権といった基本的価値は深刻な挑戦を受けています。

先週金曜日[2月24日]の元老院広場におけるウクライナ犠牲者追悼式のろうそくの灯は、私の心に長く残っていくでしょう。

この歴史の分岐点にあって、私は、「信頼」が私たちにとって大切な道標となるような正しい道を進みたいと思います。

その道の先では、一筋の光を目にすることが出来ることでしょう。

本日、3月の太陽の光の下にあって、私は心からそう望みます。

フィンランドの人たちが「3月になれば、大地が顔を見せ始める (Maaliskuu maan avaa./ March shows the ground.)」と言うように。』

2023年3月

駐フィンランド大使 藤村和広

